

令和2年度 多職種連携・地域協働・地域課題の発見と解決に向けて コミュニティソーシャルワーク実践講座

本講座は、「地域を基盤としたソーシャルワーク」（Community based Social Work）の実践をテーマに、「暮らしをまもる」個別支援機能と「つながりをつくる」地域支援機能を連携させた地域福祉の理念と方法論について学び、地域福祉を推進する専門職の育成を目的に開催します。

- 1 受講対象
 - ・大阪市内の社会福祉協議会、地域包括支援センター
障がい者基幹相談支援センター、福祉関係事業所等の福祉専門職
 - ・1日目と5日目のオンライン研修にカメラ付 PC、タブレット又はスマートフォンで参加できること（1日当たり5GBを使用できるネット環境が必要）
 - ・インターネットへの有線接続またはWiFi環境が準備できること
- 2 研修日程
 - ①令和2年9月1日（火） ②9月16日（水） ③10月5日（月）
 - ④10月26日（月） ⑤11月4日（水） 【全5回】
 - ※時間はすべて 午後1時30分～4時30分
- 3 研修会場
 - ①、⑤ 自宅又は職場でのオンライン講義
 - ②～④ 大阪市社会福祉研修・情報センター 4階 会議室
- 4 内 容 裏面プログラムを参照ください
- 5 講 師 武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 教授 松端 克文
- 6 定 員 24人（申込多数の場合は、選考のうえ受講者を決定します。）
- 7 受講料 7,500円+テキスト代1,500円
（当日の受講者側による通信環境のトラブルがあった場合は返金致しかねます）
- 8 申込方法 受講申込書に記入のうえ、FAX、郵送又は持参にてお申し込みください
- 9 申込締切 令和2年8月7日（金）午後5時（必着）
- 10 受講決定 「受講決定通知書」を所属長あてに送付します。
8月17日（月）までに届かない場合は、ご連絡ください。
- 11 申込先 大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当
〒557-0024 大阪市西成区出城 2-5-20
TEL06-4392-8201 FAX06-4392-8272 kensyu@shakyo-osaka.jp

●昨年度のアンケートより
コミュニティソーシャルワークの実践方法について理論的に教えていただき、感性だけでなく、理論を知った上で支援できる深い学びとなりました。

※本研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置を講じたうえで実施する予定です。詳しくは、センターホームページにてご確認ください。また、今後の臨時休館の取扱状況によっては、中止または延期する場合があります。ご理解いただきますようお願いいたします。

令和2年度 多職種連携・地域協働・地域課題の発見と解決に向けて

コミュニティソーシャルワーク実践講座 プログラム

講師：武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 教授 松端 克文

<p>[1日目]</p> <p>令和2年 9月1日(火)</p> <p>午後1時30分 ～4時30分</p>	<p>地域づくりを視野に入れた個別支援を学ぶ</p> <p>個人を地域で支える援助と、個人を支える地域をつくる援助を一体的に推進する「地域を基盤としたソーシャルワーク」の理念を学ぶとともに、「一つの事例が地域を変える」という実践を学びます。</p> <p>※【1日目】と【5日目】は自宅又は職場でのオンライン講義となります</p>
<p>[2日目]</p> <p>9月16日(水)</p> <p>午後1時30分 ～4時30分</p>	<p>総合相談を地域福祉の戦略として位置づける</p> <p style="text-align: right;">事例紹介</p> <p>事例紹介では、他市が行っている個別相談や地域福祉の戦略を、地域の方が取り組めるように整理し、プロジェクト方式で進める事例を紹介します。</p>
<p>[3日目]</p> <p>10月5日(月)</p> <p>午後1時30分 ～4時30分</p>	<p>潜在的ニーズの把握から始める、ともに支えあう地域づくり</p> <p style="text-align: right;">事例検討</p> <p>既存の制度やサービスで生活課題を解決できない、または自分自身の生活課題を表面化できない、住民が地域課題を課題として認識できないなど、地域の中では潜在化している課題やニーズが存在します。こういった課題について、いち早く支援者として気づくには、地域へどのようなアプローチが必要なのか、潜在的ニーズについて把握できる仕組みについて、事例を通して実践的に考えます。</p>
<p>[4日目]</p> <p>10月26日 (月)</p> <p>午後1時30分 ～4時30分</p>	<p>地域住民の主体形成の支援策を学ぶ</p> <p style="text-align: right;">事例検討</p> <p>地域にある生活課題を住民が意識し、自分たちの地域の中での支援活動を推進するきっかけとなる「しかけ」について、実践事例の取り組みからその手法を学びます。それぞれの取り組みの目標について、「タスクゴール」「プロセスゴール」「リレーションシップゴール」を意識しながら、課題解決のヒントを考えます。</p>
<p>[5日目]</p> <p>11月4日(水)</p> <p>午後1時30分 ～4時30分</p>	<p>地域福祉の理念とこれからの地域福祉実践を考える</p> <p>地域福祉とは、何を大切にし、どのような実践が求められるのか。職種や領域を問わず、あらゆる社会福祉従事者に求められている「地域福祉の実践」について、その理念と実践法の概論を学びます。</p> <p>※【1日目】と【5日目】は自宅又は職場でのオンライン講義となります</p>

令和2年度「コミュニティソーシャルワーク実践講座」受講申込書

送付先：大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当

FAX番号(締切8月7日) (06)4392-8272

法人名	
勤務先名	
所属長	

下記の者の受講を推薦し、申し込みます。

ふりがな				年齢	
名前					
職種		(記入例: 相談員、介護支援専門員、介護職 など)	役職	(記入例: 主任、チーフ、なし など)	
福祉業務経験年数		年	ヶ月	* 経験年数基準日 2020年9月1日	
現(役)職での経験年数		年	ヶ月		
事業所 (勤務先)	勤務先種別	(記入例: 地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、法人本部 など)			
	所在地 (郵便の届く住所をお書きください)	〒			
	電話番号		FAX番号		
割引クーポン利用希望		No.	*「キャリアデザインノート」(1冊600円で販売中)の「受講料割引クーポン」をご利用の方は、クーポン番号をご記入ください。		
本研修の受講の目的					
本研修で学びたいこと					
オンラインの会議や研修に参加したことがありますか		<input type="checkbox"/> 参加したことがある		<input type="checkbox"/> 参加したことない	
相談事例で住民や地域と連携し支援した経験があれば記入して下さい。					
備考欄		*車いす使用の方、手話通訳、拡大文字資料などを必要とする方は、その旨ご記入ください。			

※大阪市社会福祉研修・情報センターでの個人情報の取り扱いについて

当センター主催の研修・講座に受講申し込みされる際には、名前、住所その他の個人情報を提供していただきますが、これらの情報は、名簿の作成、資料の送付等、研修事業の運営のためのみ使用し、他の目的で使用したり、他者へ提供することはありません。